

◎ご質問があれば、ご記入ください。

●親がどの様に働きかければ、子供がガクチカを見つけるサポートが出来ますか？

→様々な方法があるのかも知れませんが、日常会話でどの様なことを学んでいるのか、どんな壁にぶつかりどんな工夫をして乗り越えたのか、ぜひ聞いてあげてください。そして、話を聞きながら学んだことやエピソードを引き出してあげてください。また、何をアピールすればいいのかわかっていたら、ともに学生生活を振り返り、働く時に活かせるような強み（本人の良さ）を伝えてあげてください。

●大学院生でも同じようにインターンシップしますか？

→インターンシップは必ずする必要はありませんが、就職活動に取り組む多くの大学院生は、インターンシップに参加しています。

●理系の大学生の就活は、文系の学生とは違うのか知りたい。本人に聞いたが、キャリア支援室の使い方を知らない。大学に行くだけで、大学の施設を活用しておらず、どのように声を掛ければ良いのかも分からない。

→理系も文系も大学生の就職活動は基本的に変わりません。少し異なることは、理系学部には大学からの推薦枠があります。学部の就職担当教員から案内がありますので、学部の就職担当教員から発信される情報も良く確認してください。

●看護学部で医療系以外の仕事に就いた生徒はこれまであまりいないのでしょうか？

→看護学を学ぶ学生でも、例年数名程度は看護の仕事以外に就職します。

キャリア支援室では、全学部の学生を対象に支援していますので、個別にご相談いただければ、志望する進路に合わせて支援いたします。

●関東出身の2回生女子です。関東での就職を希望しているようです(本人の意志)。今や情報集めも面接もWebとのこと。特に不利なことはないでしょうか？何かアドバイスがあればお願いいたします。具体的な業種などはまだ未定です。

→企業数は首都圏の方が多くありますので、関東の実家を拠点として就職活動ができることはメリットではないでしょうか。注意すべき点としては、(学部によりますが)大学の対面授業とインターンシップ・就職活動の両立が難しくなる可能性がありますので、計画的な履修と単位取得を心がけていただければと思います。キャリア支援室が実施する個別相談はオンラインにも対応していますので、関東のご実家からでも気軽に相談ください。

●OB訪問を先輩保護者から勧められるのですが、まずはOB訪問とは何ですか？何のために、どういうメリットがあってするものですか？OB訪問するOBの方は自分で探すので

すか？

→OB 訪問とは、企業で働いている本学の卒業生でもある社員の方に直接会社や就職活動について質問しに行くことです。会社説明会で聞けなかった質問や社会人としての生の声を聞くことで、より深く企業理解や働くイメージを持つことができます。大学のキャリア支援室や各企業の人事担当者からの紹介などで情報を得て、訪問することが多いと思います。

また、個別訪問以外には、大阪公立大学校友会が主催する卒業生と現役学生の交流会（民間企業・官公庁）や学内で実施している企業セミナーでも卒業生の方に質問できる機会があります。

●理学部在籍ですが、院へあがらず就職するか、あがるかで思案中のようです。何か就職する際に差はありますか？

→高い専門性が必要な研究職・開発職などでの就職を目指す場合は、理系の専門分野を指定した大学院生向けの求人がありますので、全く一緒というわけではありません。

●就活で成績証明書が必要な場合どこまでのものなのか。3年生のは含まれないのか

→企業から求められる書類とその時期は、企業ごとに異なります。各企業の指示に合わせて書類を提出することになります。4年次に成績証明書の提出が求められれば、一般的に3年次の成績は含まれます。

●学部別にこれは取った方がいい資格を知りたい

→学部で学んだ専門性を公に証明できる資格があれば、取得を考えても良いのではないかと思います。

●公務員志望の場合の就活はどうなるのでしょうか？民間への応募と公務員試験との両立はどんな感じになるのでしょうか？

→公務員と民間企業の就職活動を同じレベルで取組むことは、どちらも片手間でできるものではありませんので、かなり忙しくなることを理解して取組む必要があると思います。

公務員採用試験は、国家総合職から国家一般職、全国の地方自治体まで様々な試験があります。また、公務員試験に似た採用をしている国立大学法人や学校職員などもありますので志望する官公庁や職種によりますが、チャンスは複数回あります。

試験内容は様々で、専門記述まで求められる国家総合職などから面接試験だけの地方自治体もあります。また、民間企業の就職活動と両立しやすい適性検査と面接で済む官公庁も増えています。最近の傾向としては、どの官公庁でも面接試験が重視される傾向にあります。3年生の春頃から公務員の筆記試験対策の勉強をはじめるといわれていますが、並行して面接試験対策にも取組む必要があります。

各自が民間企業または公務員のどちらをどの程度重視するのかを明確にして取組む必要があると思います。

●大学名フィルターは、現実に存在しますか？また、公には確認されてなくても、有り得るでしょうか？

→100%ないとは言えませんが、最近は大学名だけでなく氏名、顔写真も選考資料には含まれない企業もありますので、人物本位の採用が主流と言えます。また、公務員試験の受験者が面接時に提出する面接カードについては、ほとんどの官公庁で大学名の記載欄はありません。

●大学院への進学を考えているが、受験の事や、院生の就活も知りたいです。

→大学院入試については、大阪公立大学大学院案内や大学院入試案内HP

(<https://www.omu.ac.jp/admissions/g/>)にてご確認ください。

→大学院生の就職活動や就職実績については、分野により大きく異なります。

まだ大阪公立大学大学院には修了生がいませんので、現時点では大阪府立大学大学院HP ([https://www.osakafu-u.ac.jp/campus\\_life/statistics/graduate/](https://www.osakafu-u.ac.jp/campus_life/statistics/graduate/)) や

大阪市立大学大学院HP (<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate>) で各研究科の就職実績をご確認ください。

●新設の学部や学域の学生を対象とした、就活のやり方、指導などの説明会はないのですか？OB がいないので、何を軸に進路を決めて行くか、わからないので、参考になる物差しがなく、そのあたりへのピンポイントのフォローは無いのでしょうか？

→大阪府立大学工学域から独立した農学部、獣医学部や大阪府立大学地域保健学域と大阪市立大学医学部看護学科から独立した看護学部については、これまでも就職支援の実績があり、卒業生も多数います。現時点では、特別な就職支援等は予定していませんが、学部・学域の教職員とともに検討したいと思います。

また、一人一人の学生の悩みや迷いごとについては、個別相談で丁寧に対応いたします。

●GPA が採用にどの程度影響しているのかを教えてください。

→採用の基準については、各企業が個別に設定し採用の可否を判断しています。そういったことからGPA（大学の成績を含む）の重要度についても一概には判断できません。

●就職活動に関しての、相談等がある場合は電話でお聞きすればよろしいのでしょうか？

→各キャンパスの担当窓口は次のとおりです。進路・就職に関する相談、質問があれば、気軽に連絡ください。

・杉本キャンパス	学生課キャリア支援室（高原記念館）	TEL 06-6605-2104
・中百舌鳥キャンパス	学生課キャリア支援室（A3棟1階）	TEL 072-254-9119
・阿倍野キャンパス	医学部学務課	TEL 06-6645-3611
	看護学部学務課	TEL 06-6645-3511
・羽曳野キャンパス	学生グループ就職支援担当	TEL 072-950-2940
・りんくうキャンパス	学生・教務担当	TEL 072-463-5091

以上

※一部質問の内容が重複している部分は、集約させていただきました。ご了承ください。